

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	市民生活部		
	課名	防災安全課		
	係名	消防防災係		
	記入者		電話(内線)	281

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]		継続		(2) 事務事業 の名称			火災予防キャンペーン			(3) 事業の 優先度		B		
(4) 総合計画での位置づけ							(6) 事業主体			市				
① 事業の区分		主要事業							(7) 予算・ 財源等 の種別		事業の性質		一般事業費(ソフト事業)	
② 施策コード		24404		(総合計画掲載ページ 85 ページ)							会計区分		一般会計	
基本目標(政策)		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)					財源区分				市単独			
基本施策		2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)					予算科目				款 9 項 1 目 2			
施策		④消防・救急体制の強化					予算書上の				消防団活動経費			
施策内容		4予防消防の徹底					事業名称				(予算書 148 ページに掲載)			
(5) 事業期間		開始		平成	27	年	4	月から	(8) 事務分類			自治事務		
		終了				年		月まで (力年)	根拠法令		消防組織法 消防法			

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象(だれに対して・何に対して行うのか)	結城市民	(3) めざす姿(意図・どのような状態になるのか)	火災予防に関する啓発を市民に対し行うことにより、火災発生を抑制を図る
(2) 手段(事業内容・どのようなことを行うのか)	秋と春の年2回、消防車両による火災予防宣伝パレードと、消防団員による啓発チラシの配布を市内全域に対して行う	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)	全国火災予防週間に合わせて、実施することとなっている
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応			
空き家などが全国的に増加傾向にあるなか、不審火などによる火災発生の予防にもつながっている			

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映					
実施計画											
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）					
事業内容		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度		31 年度	
(1) 事務事業費の コスト	事業費	印刷製本費		80 98							
	合計		80 98								
	財源	国庫支出金 (千円)									
		県支出金 (千円)									
地方債 (千円)											
その他特定財源 (千円)											
一般財源 (千円)		80 98									
合計 (千円)		80 98									
補助・起債制度名											

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）									
指標の名称				単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名	実施回数	目標値	回		2	2	2	2	
		実績(見込)値		2	2				
		目標値							
		実績(見込)値							
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名	実施回数	目標値	回		2	2	2	2	
		実績(見込)値		2	2	2	2	2	
		達成率		100.0 %	100.0 %				
		目標値							
		実績(見込)値							
		達成率	%	%					
5. 事業評価									
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価				理由					
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い						
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である						
	手段の妥当性	A	妥当である						
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない						
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	市内全域を対象に行っているので、偏りはない。					
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	直接火災発生の抑制につながっているかは、わからない。					
進捗度	事業の進捗	A	順調である	年2回実施している。					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。									
今後、防災行政無線が整備され、運用が開始された場合に、パレードなどの実施方法の検討が必要になる。									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？									
防災行政無線を活用し、火災予防に関する啓発を検討していく。									
6. 事業の方向性判断									
評価主体		28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			注）記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			火災予防に伴う消防車両による広報や、火災予防のチラシ・啓発品の配布は重要である。今後は、防災行政無線等も活用し継続的な啓発を実施し意識向上を図る。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。				